中学校１年　社会　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	1	1	0	1	1	0	2
±10％ の範囲内	4	4	8	5	5	6	１６
－10％ より低い	1	1	0	1	1	0	2
計	6	6	8	7	7	6	２０

（２）考察

①　全体について

ア　平均通過率から見ると、おおむね良好な状況にあるといえる。

②　成果

ア　過去に出題され通過率が低かった内容については改善が図られている。

③　課題

ア　資料を読み取るなどの資料を活用する力が不十分である。

（３）今後の指導

ア　資料を活用して、分かったことや考えたことを表現する力を育てるために、資料から読み取ったことを基に思考する学習の一層の充実を図る。

○ポイント［(13を例として］

①年表を活用した歴史的事象の意味の読み取り

②読み取って分かったことについての簡潔で効果的な表現

○具体例

年表では、
①いつ頃の出来事なのかに着目する。
②誰が何をしたのかに着目する。
③どこで何があったのかに着目する。
④出来事の流れを読み取る。

年	で　き　ご　と
1931	中国北東部で，日本軍が中国軍を攻撃する。
1937	北京の近くで，日本軍と中国軍がしょうとつする。
1940	日本がドイツ，イタリアと軍事同盟を結ぶ。
1941	日本が，ハワイにあるアメリカ軍事基地を攻撃する。
1945	日本が降伏し，１５年におよぶ戦争が終わる。

○年表を活用して歴史的事象の意味を読み取る

◆①～④に留意し、情報を的確に読み取る。
◆その出来事を知ることができる関連資料を見つけて、足りない知識を補う。
◆その出来事よりも前の出来事と比較し、どう変わったのかを読み取る。
◆そうした変化は、なぜ起こったのか(原因や背景)を考える。
◆その出来事によって変わったこと(結果や影響)に目を向ける。

○年表を読み解くと、分かること

・わが国は中国との戦争が全面化し，戦時体制に移行した。
・大陸での戦いを有利に進めるため，わが国はドイツ，イタリアと軍事同盟を結んだ。
・わが国が，アジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れ，この戦争によって国民が大きな被害を受けた。

○調べて分かったことを簡潔に表現する

◆情報を整理する視点を明確にする。
◆調べた内容の関係を図に表現する。
◆目的に応じて、ふさわしいまとめ方を選択して表現する。
（作文や新聞、絵やイラスト、図表、劇、立体地図づくりなど）

・グラフや統計資料などでは、資料からできるだけ多くの事実を読み取らせるようにすること，読み取った事実から何が言えるかを考えさせることなど、必要な情報を読み取り，それを活用して社会的な思考力を高める指導が大切である。
・読み取りの切り口が多岐にわたる価値ある資料の選定に心掛け、学習意欲を高める資料提示の仕方を工夫することが大切である。
・何のためにその資料を読み取るのか、読み取った知識を活用して何を明らかにするのかなどの目的意識を明確にし、見通しをもって資料を読み解く力を育成するために、生徒自らが資料に働きかけるような学習の工夫が大切である。
・年表などの資料から社会的事象の特色を読み取ったことを文章でまとめる際には、考えの根拠となる資料を載せたり、キーワードを意識して短い文章で記述させたりする活動が大切である。